

○ 役員会<議事録>：令和4年10月29日(土)21時～22時

1 第49回定期演奏会

(1) 選曲状況報告

- ・楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲
- ・リスト／交響詩「前奏曲（レ・プレリュード）」
- ・ブラームス／交響曲第3番 ヘ長調 作品90

⇒選曲委員会の提案を採決の結果、賛成多数で可決された。

2 大佐公演の実施計画

(1) 当日スケジュール

(2) 楽器運搬

- ・トラックに随行：3～4人（1台分の交通費支給）規定のとおり

(3) バス行程等

- ・①号車：北長瀬駅→倉敷駅北→大佐
- ・②号車：玉島支所→本庁→大佐
- ・乗車確認担当（①号車：藤田、串部 ②号車：上原、赤塚）

(4) 司会者：山内氏

(5) お楽しみコーナー

- ・司会：指揮者
- ・グッズ：くらっカンの缶バッジ → できたら作成
- ・木管：「白鳥の湖」
- ・金管：「カルメン」

(6) 打ち上げ：全体では無し、新人さんの対応を。

3 TCCを活用した次年度以降の公演企画案 ※選曲委員会で承認された場合に審議

(1) 2023年11月：オレンジ&パープルリボン・シンフォニー・ジャズコンサート

ラヴェル／ボレロ

ガーシュイン／ラブソディー・イン・ブルー

ガーシュイン／巴里のアメリカ人

ガーシュイン／キューバ序曲

指揮：浦 優介（仮）

pf：山中惇史（仮：希望）、sax：くらしき作陽大学関係者

選曲理由：毎年11月上旬は倉敷美観地区一帯で倉敷ジャズストリートが開催され、多くの観光客等で賑わう。その美観地区に隣接する倉敷市民会館で、オーケストラによるジャズ風コンサートを開催し、ジャズストリートとの相乗効果を狙い集客を図るもの。

経費負担：収支差額の赤字額が支援決定額を超える場合は全額、超えない場合は赤字額までが協賛される。

※別紙のとおり応募してよいか？【採決】⇒ 否決（定期並みの団員負担が生じる恐れがあるため）

(2) 2024年度：第50回定期演奏会（JAO 提案型）

指揮者：小林研一郎

経費負担：予算計画書に基づく必要経費のうちチケット売上の半額を除いた分を販売会社グループとトヨタ自動車が原則的に全額負担する。

※別紙のとおり応募してよいか？【採決】⇒ 賛成多数で可決

4 楽団の組織体制等の見直し → 説明のみ

- (1) マネジメントスタッフ制度の導入
- (2) 副団長、シニアマネージャーの新設及び広報担当をパブリシストに名称変更
- (3) トレーナー制度の導入
- (4) JAO総会等への参加費補助の改正

5 次年度役員候補

交代、立候補、推薦などあれば11月末までに総務担当まで連絡すること。

⇒総務担当マネ原田、今期で退任。

12月10日（土）20時半からの役員会で総会への提案を協議。

6 その他

- ・団員名簿の整理状況

退団届を出さない休団中の人をどうしたらよいか？

→ 楽団からの連絡に対し、概ね1年間応答のない者については、役員会の協議を経て退団したものとみなすことができる扱いとなっている。

*団員名簿管理マニュアル参照

⇒報告がまだのパートは11/7(月)までをお願いします。